



# CEPA JAPAN

CEPA とは、生物多様性を守るために必要な活動

広報 **C**ommunication

教育 **E**ducation

普及啓発 **P**ublic **A**wareness

の頭文字をとったもので、  
生物多様性条約 13 条で定められている締約国の義務です。

これからの私たちに必要なのは、  
かつてのように自然と人間を切り離すのではなく、  
人間の生活が豊かな自然資源に支えられていることを、  
きちんと知り、行動すること。

CEPA ジャパンは、  
生物多様性をもっと身近に感じてもらうために、  
「広報・教育・普及啓発 (CEPA)」に関する情報共有、  
そして推進の場として設立されました。

## VISION

生物多様性が豊かな国に住まう市民として、災害に強く安心で安全な営みのため、COP10 で採択された「愛知目標」達成を目指し、国連総会で採択された「国連生物多様性の 10 年」を推進します。

そのために、日本の伝承文化に裏付けられた各地の持続可能な地域づくりと連携し、生物多様性に支えられた心豊かな暮らしへ導く CEPA 活動を展開します。

さらに、持続可能な社会の実現を加速させるため、世界に通用し誰もが学びたくなり教えたいとなる、エデュケーションセンターを建設することを目指します。

そして、先住民、地域共同体と想いを共有し、2050 年には地球上に存在するすべての社会が、生物多様性に支えられた心豊かな営みとなっていることを目指します。

この 10 年を、私たちは、「地球を守るラストチャンス 10 年」ととらえています。

## MISION

1. 愛知目標達成と、災害に強い地域づくりのため、生物多様性の教育とコミュニケーションを推進する。
2. 地域の個性を守るため、自治体、企業、市民と生物多様性の行動計画を推進する。
3. 持続可能な生産と消費のため、Green Economy の理解促進を図り、新しい取り組みを創出する。

## SYMBOL MARK

これからの私たちに必要なのは、人間も地球の中のひとつの生きものであり、たくさんの命とつながり、  
生かされていることを実感し、行動すること。

このシンボルマークは、私たち CEPA ジャパンの目指す「生物多様性を身近に感じることができる、本来あるべき未来」につながる、「窓」をモチーフとしています。

また、シンボルカラーは、「日本のさまざまな地域で伝承されてきた暮らしの知恵を学び、大切にしたい」という思いから、日本の象徴である「桜」をイメージしました。

豊かな未来につながる「窓」には、「生物多様性を、すべての人々にとって、もっと身近なものにしたい」という決意が込められています。